

商船系 5 高専との密接な連携を確認

～ 「国立高等専門学校（商船学科）5 校 - 人材確保タスクフォース連絡会」を開催 ～

日本船主協会は、2008 年 7 月に「人材確保タスクフォース（TF）」を設置し、優秀な日本人船員（海技者）確保のための広報活動を行っている。

TF の活動には船員教育機関との密接な連携が不可欠であるが、この度、関連教育機関のうち、商船学科を持つ国立高等専門学校（高専）5 校との連絡会を開催した。

人材確保 TF は発足以降、商船系 5 高専（弓削商船高専・富山高専・鳥羽商船高専・広島商船高専・大島商船高専）との間で、例年、TF の活動や高専側の現状等について意見交換する「連絡会」を開催している。



議論を取り纏める鈴木副会長(TF 座長)

今年度の連絡会は 2014 年 11 月 19 日(水)に当協会会議室で開催され、5 校の先生方と人材確保 TF メンバー 5 社が出席した。

会合では、まず、今年度で 7 回目の開催となった「高専合同進学ガイダンス」の結果について意見交換した上で、2015 年度の開催について議論し、効率化を念頭に引き続き開催する方針とすること等を確認した。

次に、商船系 5 高専より文部科学省から「大学間連携共同教育推進事業」として採用された「海事人材育成プロジェクト」の 2014 年度活動内容報告ならびに 12 月 16 日(火)開催予定の第 2 回高専・海事教育フォーラムについて説明が行われた。



連絡会の模様

また、高専側から改めて当協会ならびに人材確保 TF メンバー会社に対して、教員の乗船研修等への協力について謝意が述べられるとともに、引き続き教育推進事業への支援が求められた。

今後も高専と当協会が連携を維持していくことを確認して今回の連絡会を終了した。



高専のプロジェクトを説明する富山高専 遠藤教授